

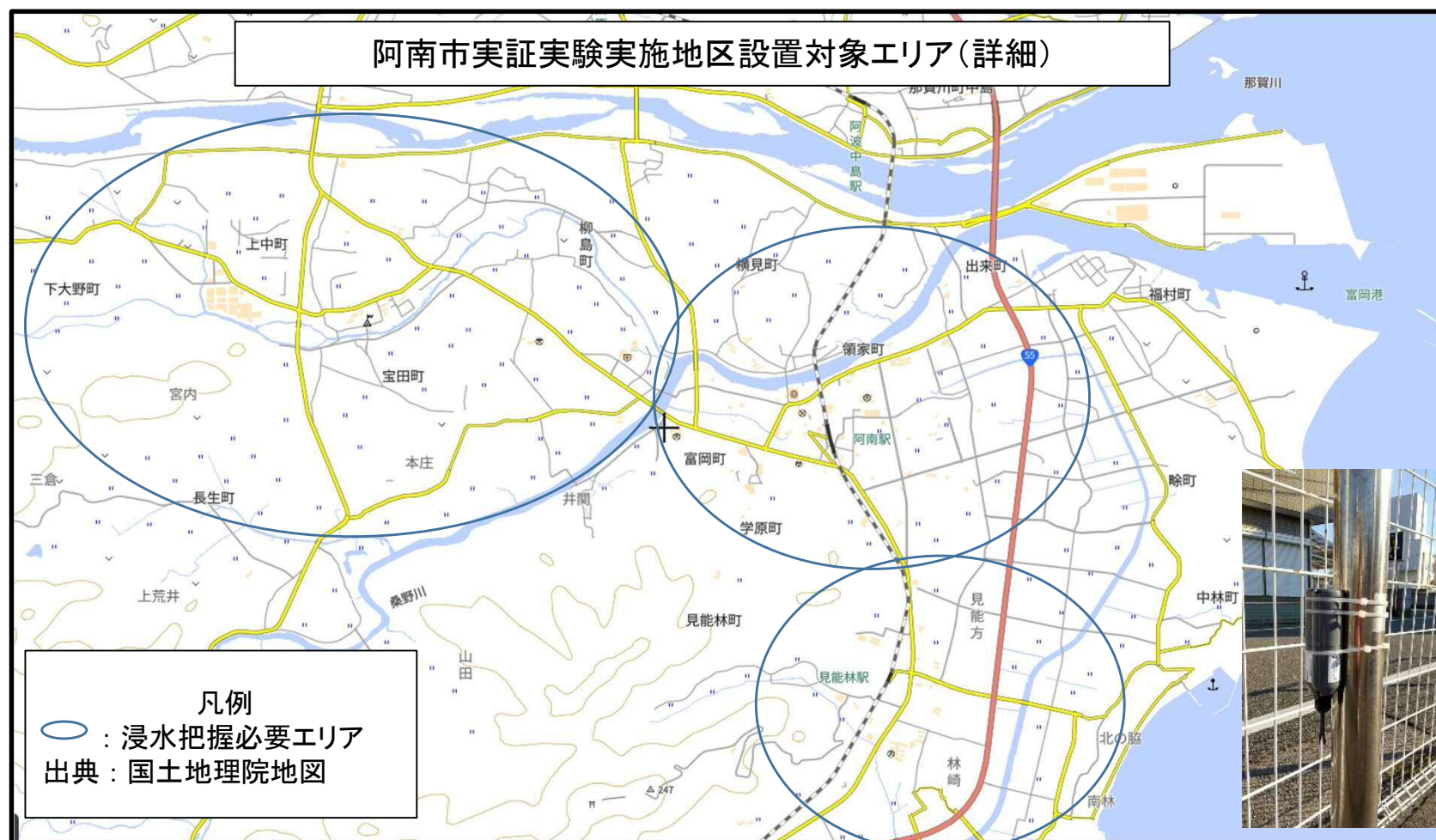
(4) 令和 6 年度の取組状況

令和6年度取組

阿南市

ワンコイン浸水センサ実証実験(危機管理課)

近年、国内において大雨による平野部の浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっていることから、日亜化学工業(株)が国土交通省が実施する実証実験に参加し、社員駐車場等に浸水センサの設置を行った。



令和6年度取組

防災訓練及び講演会(危機管理課)

阿南市

〇SNSによる避難所受付訓練

避難所における受付の効率化、迅速化と密集防止を図るため、市公式LINEを活用し、アンケート機能と表計算ソフトを用いた自動集計プログラムの実証実験を実施



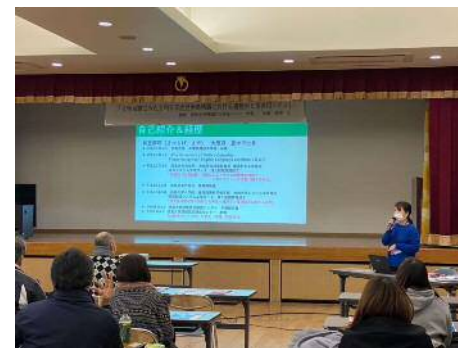
〇広域避難訓練

多くの指定避難所が浸水のため使用できなくなった場合、市域外への広域避難を要請することを想定し、県西部県民局等とZOOM映像を接続した訓練を実施



〇防災出前講座

徳島大学環境防災研究センターの松重摩耶助教を講師に、「女性目線でみた令和6年能登半島地震における避難所と災害用トイレ」と題した講演を開催



令和6年度取組

阿南市

小児慢性特定疾病患者を対象とした個別避難計画の策定(危機管理課)

○関係者会議の開催

【参加者】

患者、母、市関係者、消防、かかりつけ医療機関、訪問看護ステーション、県医療的ケア児等支援センター、人工呼吸器・酸素取扱業者、在宅介護事業所、相談支援事業所、学校関係者、民生委員、保健所

患者、母が普段関わりのない地域住民や支援者と繋がり、平時や発災時の患者、母のニーズを共有。支援者で役割分担し、協力して災害時個別避難計画を策定。



○令和6年台風10号による事前避難



○避難訓練



令和6年度取組

阿南市

大規模災害時における断水対策(危機管理課)

○災害時協力井戸の募集

大規模災害が発生した際には、長期間の断水が予想され、生活用水の不足が懸念されることから、災害時の生活用水確保と地域における防災力の強化のため、令和7年1月から災害時協力井戸の募集を開始した。



「災害時協力井戸」を募集しています!

大規模災害が発生した際には、長期間の断水が予想され、生活用水の不足が懸念され地域住民が互いに助け合う「共助」が必要です。阿南市では、災害時の生活用水確保と地域における防災力の強化のため、災害時協力井戸を募集しています。募集による申込をお願いします。

指定要件

- 1 市内に所在する井戸であること。
- 2 水質の基準の全てを満たすこと。
- 3 災害時に無償で井戸水を提供できること。
- 4 井戸本体及び周囲の状況の基準の全てを満たすこと。
- 5 災害時協力井戸として指定された日以降も井戸の所有者又は管理者が、生活用水を確保するための井戸として適切に管理する見込みがある井戸であること。
- 6 災害時協力井戸として指定された後、井戸の所在地等を公表することについて、所有者と管理者の同意があるものであること。
- 7 その他、市長が必要と認める要件

※詳しくは、となりのQRコードから阿南市HPでご確認ください。

申込方法

- ・書面による申し込み
書面の災害時協力井戸指定申請書(様式第1号)に必要事項を記入し、危機管理課(本庁3階)へ提出してください。
- ・電子申請サービスによる申し込み

※申し込み後、職員が現地調査を実施し、設置状況について問題がなければ、水質検査を無償で実施します。

指定完了

水質検査の結果によって、災害時協力井戸の指定の可否を通知します。
また、指定後は指定災害時協力井戸標識を併せて交付します。
玄関等のわかりやすい場所に掲示してください。

【お問い合わせ】
阿南市役所 3階
危機管理課
電話 0884-22-9191
FAX 0884-28-9884

阿南市



○循環型手洗いスタンド WOSHの導入

手洗いに使用した水を循環し、98%再利用できるWOSHを導入しました。発災時には避難所等で活用するほか、平時には市民の皆様にご利用いただき、防災意識の向上を図るため市役所等に設置した。



令和6年度取組 携帯トイレの購入及び配布

小松島市

計画的な携帯トイレの備蓄及び市民への木粉簡易トイレの配布

- ・災害時の断水の長期化等により、トイレの使用が困難になった状況に対応するため、昨年度に引き続き、携帯トイレを購入し、市内各避難所への分散配備を実施した。
- ・市民の防災意識の向上及び、自助・共助の促進のため、凝固パウダーに県産杉を使用した「木粉簡易トイレ」を購入し、本市総合防災訓練で来場者に配布したほか、本市お散歩アプリ「こまポンウォーク」で開催したイベントの景品として配布。


A colorful flyer for the 'こまポンウォーク' (Coma Pon Walk) event. The flyer is titled '小松島市公式お散歩アプリ こまポンウォーク 第1回 こまポンウォーキングチャレンジ' and includes details about the challenge, prizes, and participation rules. It features illustrations of people walking and various prizes like a smartphone stand and a portable toilet.

小松島市公式お散歩アプリ
こまポンウォーク 第1回 こまポンウォーキングチャレンジ
チームで期間内チーム平均歩数8,000歩にチャレンジ!!
開催期間 10月17日～10月31日 (15日間)

市民部門
1チーム3人で構成され、リーダーを本市市民とするチーム

事業所部門
市内の同じ事業所・企業等に勤務する従業員2～4人で構成されたチーム

チーム賞
1チーム平均歩数8,000歩達成で抽選参加可能

1 県産杉を使用したスマホスタンド
2 県産杉を使用した木粉簡易トイレ(5個分)

全チーム抽選参加
1 参加賞セット
2 スマホスタンド
3 参加賞セット
4 参加賞セット
5 参加賞セット

イベント参加者限定! 店舗共通500円クーポンの抽選応募資格
0ポイントで抽選に応募します。最大100人にクーポンが当たる。イベント参加者のみ抽選応募のクーポンを発行します。抽選参加抽選にクーポン抽選応募のお知らせをいたしますので、是非ご応募ください!
抽選券の枚数による抽選券の応募受付はできなくなりますので、ご注意ください。
抽選券1枚1枚の抽選券となります。
当クーポンの有効期限は11月を予定しております。

町営ケーブルテレビ放送による防災情報の配信

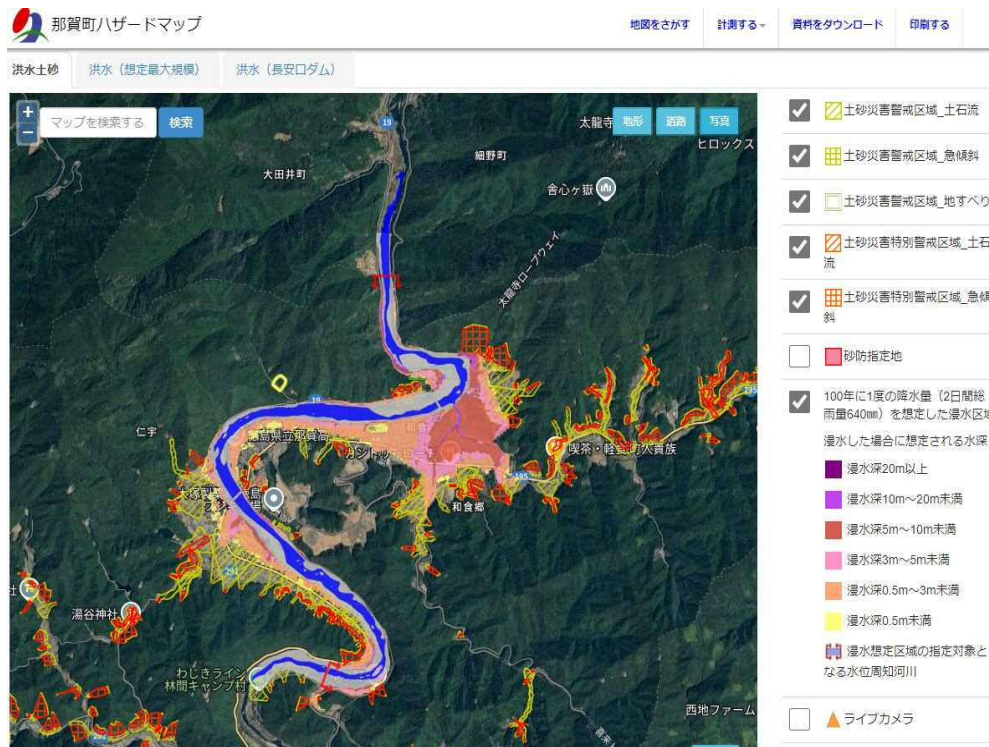
大雨による災害警戒時に、那賀町ケーブルテレビの自主放送により、雨量データ、ダム放流量、ライブカメラ映像などの防災情報をわかりやすく配信している。令和6年度はライブカメラ映像を4か所から6か所に増やし、さらなる防災情報の充実を図っている。



那賀町ハザードマップを活用した自主防災会研修

各地区自主防災会組織において那賀町ハザードマップを活用した研修会を実施

那賀町自主防災会 組織率94% 組織数124



鷺敷地区(西部)合同研修(令和6年11月23日実施)

那賀町総合防災訓練の実施

令和6年11月10日(日)驚敷地区で総合防災訓練を実施した。自主防災会、消防団、防災士の会、医療機関、警察署、消防署、役場職員、地域住民約600人が参加した。

住民は屋外放送を確認後、各地区の指定避難場所へ避難を開始、消防団は地域を巡回し、自主防災会と連携し消火活動や救助活動を実施、職員は災害対策本部を設置し、情報収集や臨時救護所の開設などの応急業務を実施した。合同訓練終了後は、各会場において、避難所開設訓練や防災講演を実施した。

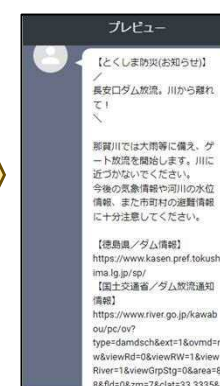


○「水害リスク情報」のさらなる充実、住民目線に立った避難行動につながる「情報発信の強化」や防災エキスパートから分かりやすく学ぶ「防災出前講座」の実施により、「逃げ遅れゼロ」の実現を目指す

- 全ての県管理河川で洪水浸水想定区域図を「作成・公表」

[illegible]

・ダム放流開始の通知
徳島県公式LINEによるPUSH型配信



- ・避難の実行性を高めるため、
VR動画等を活用した水害についての基礎知識の学習や
ファミリータイムラインの作成を支援



- ・住民へ広く周知・啓発するため、商業施設でのパネル展の開催やパンフレットを作成



○能登半島豪雨をはじめ「激甚化・頻発化」する水災害の教訓を踏まえ、避難情報を発信する市町村とあらかじめ「避難判断」に関する「防災情報」を互いに共有し、住民の確実な避難行動に繋げ「被害の最小化」に取り組む

- ・日 時：R6.12.24
- ・参加者：国土交通省・徳島県・24市町村
- ・内 容：①吉野川・那賀川の水害リスク
②中小河川の「緊急点検結果」の報告
③中小河川の「洪水浸水想定区域図」の活用
④「河川監視カメラ・水位計」の配備状況
⑤「土砂災害警戒区域」の新たな指定に向けた基礎調査の実施
⑥「土砂災害警戒情報」の発表対象区域の見直し
⑦受信側から見た「SNS情報発信（ダム放流）」

- ・水害リスクマップ（浸水頻度図）の作成
- ・土砂災害警戒区域の指定状況をPR
- ・河川監視カメラの増設
- ・河道掘削、樹木伐採の実施



①気象防災ワークショップの実施

- ・ 気象台からの情報に基づき、防災対応を疑似体験するワークショップを行った。参加者は、災害の状況を想定し、グループで情報を参照しながら対応を検討した。
- ・ このワークショップを通じて、防災情報の理解と活用、避難情報の発令タイミング等を学び、防災対応力を向上させることを目指す。

②常時接続を用いた市町村への解説

- ・ 気象台が県内で広く防災対応が必要な気象状況を予測し、自治体の支援が必要と判断した場合、常時接続で気象解説を行い、リアルタイムの防災気象情報を提供する。

③アンケートフォームによる振り返り等の実施

- ・ アンケートを用いて災害の振り返りを実施し、災害発生時の対応を自治体と共同で振り返る。この振り返りを通じて、防災気象情報や自治体支援の改善を図る。また、防災対応において双方の理解を深め、地域の気象防災力を強化することを目的とする。

④各種防災訓練やイベント等への参加

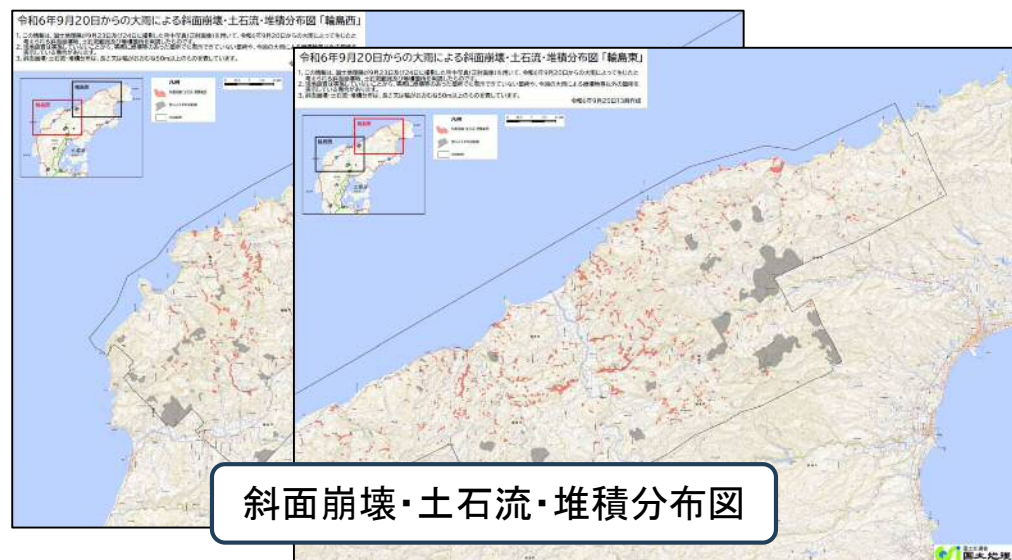
防災気象情報の伝え方の改善 (線状降水帯による大雨について)

情報の改善のため観測や予測の強化の成果を順次反映し、令和4年6月には、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを
令和5年5月には、「顕著な大雨に関する気象情報」(線状降水帯の発生をお知らせする情報)をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。

令和6年出水期には、令和4年度から開始した線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、**府県単位**で実施
(令和6年5月27日11時より運用開始)



- 令和6年7月25日からの大雨では、国土交通省災害対策用ヘリコプターが撮影した画像及び標高データを用いて、浸水範囲における水深を算出して深さを濃淡で表現した「浸水推定図」を作成し、令和6年9月20日からの大雨では、国土地理院が撮影した空中写真から、「斜面崩壊・土石流・堆積分布図」を作成して関係機関に提供するとともにホームページ上に公開しました。



令和6年度取組「重ねるハザードマップ」のデータ更新

国土地理院

○ 国土交通省が運営するハザードマップポータルサイトの「重ねるハザードマップ」において、指定緊急避難場所のデータを更新しました。

ハザードマップポータルサイト
身のまわりの災害リスクを調べる

使い方 よくある質問 利用規約/オープンデータ配信▼

身のまわりの災害リスクを調べる
重ねるハザードマップ

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

地域別のハザードマップを閲覧する
わがまちハザードマップ

市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップへリンクします。

住所から探す 住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べることができます
例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

現在地から探す **現在地から探す**
新機能（災害リスク情報のテキスト表示）について

地図から探す
地図を見る

災害の種類から選ぶ
洪水 土砂災害 高潮 津波

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 (代表電話) 03-5253-8111
国土地理院 応用地理部 地理情報処理課 〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 (代表電話) 029-864-1111

Copyright (C) Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism of Japan.

指定緊急避難場所データを更新

市区町村名	初回公開日	最終更新日
小松島市	2017-02-22	2024-12-10
阿南市	2017-02-22	2024-12-10
那賀町	2017-12-18	2024-12-10

選択中の情報
災害種別で選択
洪水・内水 土砂災害 高潮 津波 道路防災情報 地形分類

掲載データに関する留意事項
すべての情報から選択

阿南市役所
この場所では、最悪の場合、洪水による浸水が発生してその深さが50センチメートルから3メートルになることが想定されています。これは床上浸水に相当する深さです。水害発生のおそれがある場合には、浸水が想定されない場所へ早期に避難することが必要です。浸水が解消するまで我慢でき、水や食料などの備えが十分であれば2階以上の屋内で安全を確保することも可能です。避難場所や避難経路などについてはお住まいの地域のハザードマップをご確認ください。

阿南市のハザードマップを見る
誤差のため、正確な位置が表示されていない場合もあります。また、災害リスク情報は現時点のものであり、状況が変わる可能性があります。詳細はこちらの注意事項をご確認ください。

ホームへ戻る

富岡町
宝田町

標高: -0.5m (データソース: DEM5A)

サイトの新機能として、地点の災害リスク情報がわかりやすく表示できるようになりました。

令和6年度取組状況 洪水対応演習の実施

四国地整

■ 取組

2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

(2) 要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する事項

① 想定最大規模降雨による洪水を対象とした避難勧告に着目したタイムラインの作成及び改定

那賀川河川事務所では、水防担当職員等を対象とした洪水対応演習を、令和6年4月24日に実施しました。演習では、流域タイムラインを基に、那賀川の新庄観測所の水位が氾濫危険水位を越え、無堤箇所での溢水や漏水箇所での堤防決壊等、複数箇所の同時氾濫を想定して、洪水時の水位予測や、气象台との洪水予報の共同発表、水防警報の発令等、各段階における職員の役割や、実施すべき行動について確認を行いました。

今回のように実践的な演習を実施することにより、本番でも確実に災害対応ができるよう努めていきます。



写真-1 災害対策支部全景



写真-2 災害対策支部の様子



写真-3 災害対策支部の様子

令和6年度取組状況 重要水防箇所合同巡視

阿南市
四国地整

■ 取組

2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

(1) 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

②重要水防箇所等について水防団等と共同点検

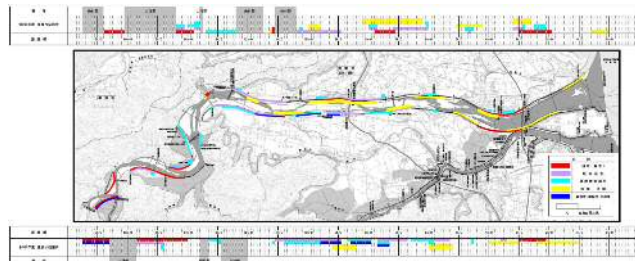
令和6年5月30日に阿南市役所と那賀川河川事務所は水防関係者による重要水防箇所の合同点検を行いました。

マイクロバスで重要水防箇所を巡視し、過去に洪水により被害を受けた箇所については、現地にて担当者による当時の状況説明を交えながら確認を実施しました。

また、各種水防工法についても再確認を行いました。

日頃から各機関で重要水防箇所について周知徹底を図ること、この機に水防に必要な情報交換を行うことで、有事の際の迅速な行動につなげていきます。

那賀川水系大規模氾濫減災協議会では、引き続き那賀川水系における減災に関する取組を推進するとともに、社会全体で平常時から洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を行っています。



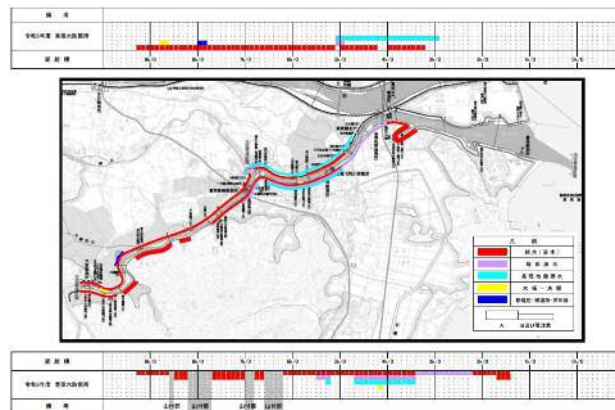
重要水防箇所一覧表(那賀川)



水衝・洗掘箇所の写真(H26年8月)



漏水箇所の写真(H26年8月)



重要水防箇所一覧表(桑野川)



合同巡視の様子

令和6年度取組状況 排水ポンプ車訓練の実施

四国地整

■ 取組

3. 社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用等の強化の取組

②排水施設、排水資機材の操作・運用等

排水ポンプ車等災害対策用機械の操作訓練を令和6年6月13日、令和6年6月24日に実施しました。

豪雨時に堤防の住居地側で浸水被害が発生した場合、現場へ迅速に排水ポンプ車を出動させ排水を行うことで、浸水被害の軽減を図ります。降雨が多くなる出水期（6月～10月）に備え、「排水ポンプ車等」の操作が円滑・迅速に実施できるよう訓練を行いました。

訓練では、排水ポンプ車3台、照明車2台を使用し、排水ホース等の接続作業及び放水作業、照明車における点灯作業等を行い、作業手順及び、異常の有無等を確認しました。

定期的な車両・機器の点検整備に加え訓練を実施することで、万全の状態で出水期に備えます。



写真-1 排水ポンプ車訓練状況(6月13日)



写真-2 排水ポンプ車訓練状況(6月24日)



写真-3 照明車訓練状況(6月13日)

令和6年度取組状況 防災教育出前授業の実施

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施

那賀川河川事務所は、7月5日（金）に阿南市大野小学校、10月3日（木）に阿南市岩脇小学校で、防災に関する出前授業を実施しました。

今年の出前授業では、「流域治水」をテーマに那賀川で起こった過去の水害の様子等を説明し、一人一人ができる流域治水について考えるワークショップを実施しました。

子どもたちはグループで意見を出し合い発表することで、自助・共助を学び、身近な水害を自分事として考えるきっかけになりました。

11月20日（金）の大野小学校では地元業者と連携し、川の仕事に関心を持ってもらうため、流量観測の体験授業を実施しました。子どもたちは実際に川に入り、浮子による流速計算やスタッフによる測量体験を行いました。

○ワークショップの児童の意見

- ・大雨等が起こった際はインターネットで情報を確認する
- ・家族の電話番号をメモしておく・逃げ道を多く知っておく
- ・家族に流域治水を説明し知ってもらう
- ・防災バックを準備し、玄関近くに置いて、取りやすいように工夫する
- ・マイタイムラインを作る
- ・注意を呼びかける、ポスターを作る
- ・冷静に落ち着いて行動し避難する
- ・川に近づかない

等



【流域治水ワークショップの様子】



【流量観測体験の様子】

令和6年度取組状況 防災パネル展

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑥効果的な水防災意識社会再構築に役立つ広報や資料を作成

那賀川河川事務所では、8月31日から9月9日まで、「フジグラン阿南」にて「那賀川防災パネル展」を開催しました。

パネルは、那賀川において戦後最大流量を記録した「平成26年8月台風11号」による水害の様子、那賀川・桑野川に設置されている危機管理型水位計の見方が分かる資料に加え、避難の目安の参考となるマイ・タイムラインやインターネットを活用した防災情報の取得のしかた等を展示しました。

また、来場された方々に流域治水への理解を深めていただくため、流域治水プロジェクトや、水害リスクマップについてのパネルを重点的に展示しました。

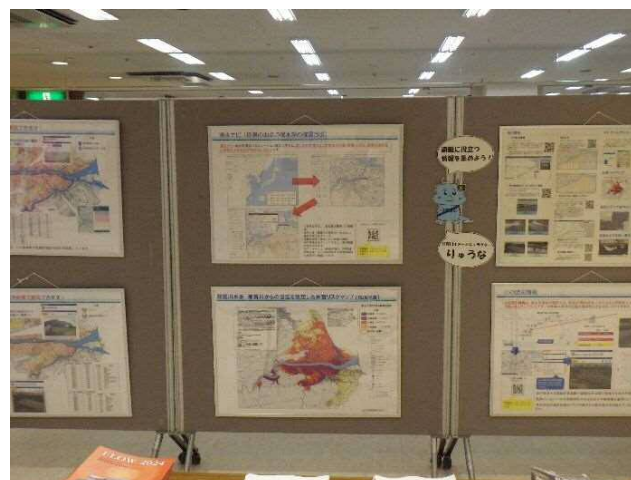
普段の見慣れた光景も、大規模洪水により命に関わる状況に変貌するということや、平時から避難に対する意識を持ってもらうことの重要性を地域住民の皆様感じていただくため、今後も情報発信を進めて参ります。



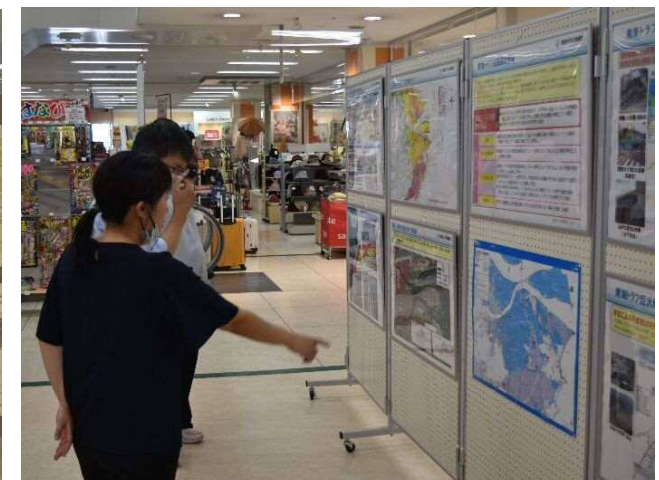
パネル展の状況(全体)



パネル展の状況(流域治水プロジェクト関連)



パネル展の状況(水害リスクマップ関連)



パネルを見る来場者

令和6年度取組状況

学校職員を対象とした出前講座(阿南市)

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施

那賀川河川事務所は、9月19日(木)に阿南市幼小中学校防災教育担当研修会勉強会として、約60名を対象とした防災に関する出前授業を実施しました。Web会議も併用することで、阿南市内の幼稚園・小学校・中学校の多くの教職員に発信することができました。

那賀川流域の概要や歴史、洪水による水害リスクや流域治水プロジェクトの説明も行い、学校職員の防災力向上に努めました。

また今回初の試みとして、徳島県県土整備部砂防防災課と連携することで、模型による水害デモンストレーションやVRゴーグルを活用した浸水体験など、体験型の出前授業を実施することができました。



資料説明状況



模型による水害デモンストレーション



VR浸水体験

令和6年度取組状況 放流警報周知会

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

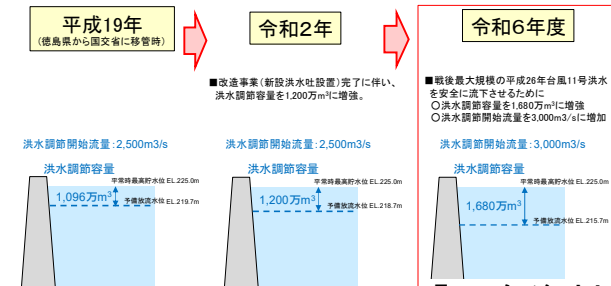
(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑨放流に関する周知会の実施

那賀川河川事務所では、洪水期を迎える前に自治体（那賀町・阿南市）、マスコミ（NHK・四国放送・四国放送ラジオ・エフエム徳島・毎日放送）、関係機関（徳島県 県土整備部・阿南警察署・徳島県企業局・阿南市消防本部・加茂谷公民館・各漁協関係者・河川情報センター）を対象に長安ロダムのルールやダムの効果、通知の方法など前年度との変更点などの周知を行いました。

操作規則の変更

- 長安ロダムの洪水調節容量は、平成19年の直轄移管時点では1,096万m³。
- 令和2年に、新設洪水吐設置完了に伴い1,200万m³に増強。
- 令和5年度に貯水池斜面の観測体制が調い、本格的なダム管理に移行予定。
- 平成26年台風11号洪水において甚大な被害が生じた『和食地区』の浸水対策が完成（R3.5）、『加茂地区』の浸水対策が完成（R4.5）。
- 戦後最大規模の平成26年台風11号洪水を安全に流下させることを目的に、操作規則の変更を実施。
- 令和6年度に予備放流水位を215.7mに変更し、洪水調節容量を1,680万m³に増強。



【配布資料抜粋】

【周知会の様子】



令和6年度取組状況 長安口ダムCCTVカメラ映像の公開

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(3) 円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項

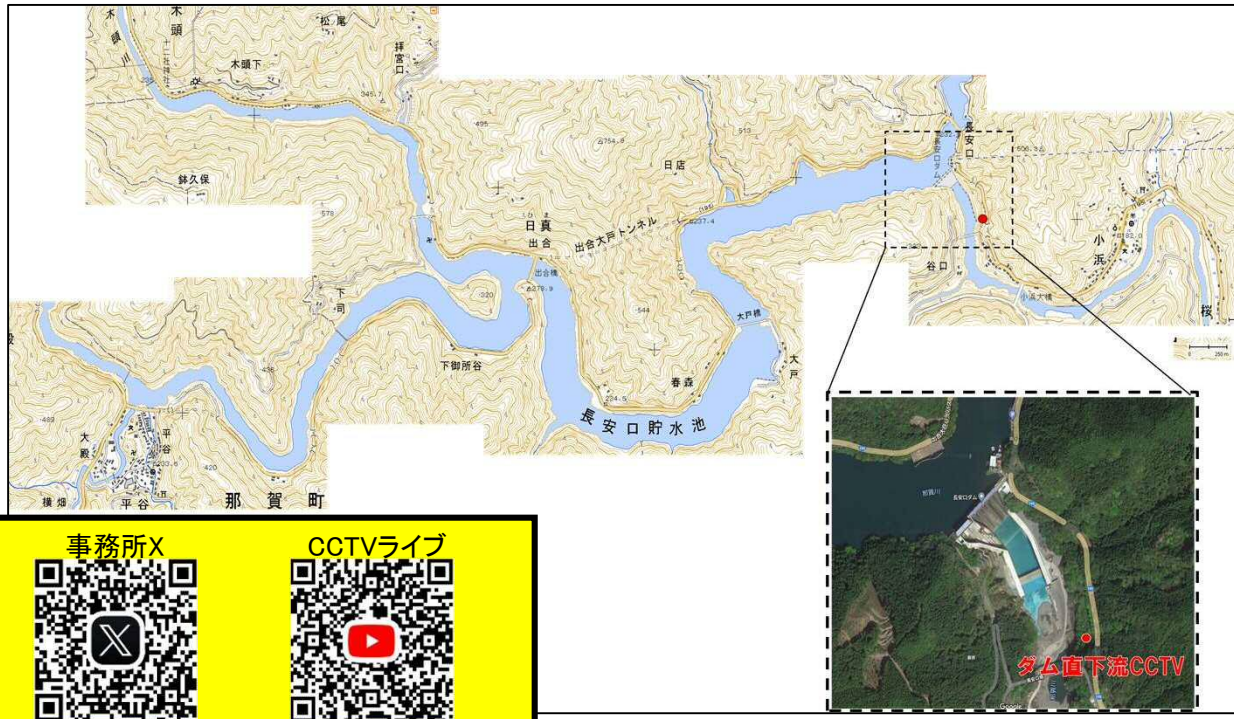
③水位計・CCTV等の整備

那賀川河川事務所では、令和6年6月19日から長安口ダム直下流CCTVカメラのYoutubeライブで配信を開始しました。

このライブ配信を通して、那賀川上流域でのダム放流状況等の情報を自宅等で把握していただくことで、早期の自主避難等に役立てていただければと思います。

なおダム放流に関する情報は事務所Xでも周知しています。

長安口ダム直下流CCTV位置図



CCTVカメラ画面(放流時)



ダム放流開始前後のX投稿(R6.11月)



令和6年度取組状況

貯水池における大規模地すべり影響検討

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

③貯水池大規模地すべり発生による影響検討

令和6年度は、長安口ダム貯水池で大規模な地すべりが発生した場合における上下流域への影響を検討しました。

検討においては、既往最大規模の地すべり（1892年高磯山崩壊）と同規模程度のものを想定し、地すべり土塊が貯水池に流入した場合の段波伝達による貯水池の変動水位と周辺道路や施設の高さを比較、ダム越流等による下流域への影響について行いました。

また、天然ダム形成による浸水範囲についても検討を行い、一般家屋・主要道路等の浸水戸数、浸水延長を確認しました。

地すべり発生時および天然ダム崩壊時の段波は長安口ダムにおいて越水を生じさせるものの、下流への浸水被害は発生しませんが、上流において浸水被害が発生することを確認しました。

